企業等

様式Ｃ（介護ロボット等モニター調査事業　要望書）

令和　3年　7月　21日

公益財団法人テクノエイド協会　殿

（要望者）
〒103-0023
住所：東京都中央区日本橋本町1丁目6番5号
事業者名：株式会社ツカモトコーポレーション
担当者所属：営業本部 新規事業準備室
担当者名：小林　孝路
電話番号：03-3279-6847
電子メールアドレス：t-kobayashi@tsukamoto.co.jp

# 介護ロボット等モニター調査事業　要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「**介護ロボット等モニター調査事業**」について、下記の書類を添付して要望します。

記

１．介護ロボット等モニター調査事業　計画概要書

２．会社概要（任意様式）

３．これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業　計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
  従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

企業等

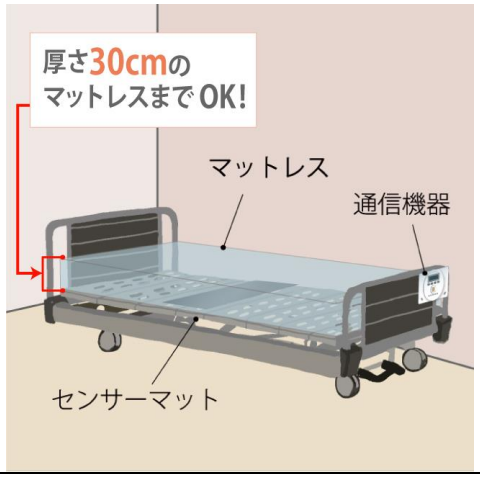
令和　3 年　8 月　19 日

# 介護ロボット等モニター調査事業　計画概要書

## 1．申請者（企業）の概要等

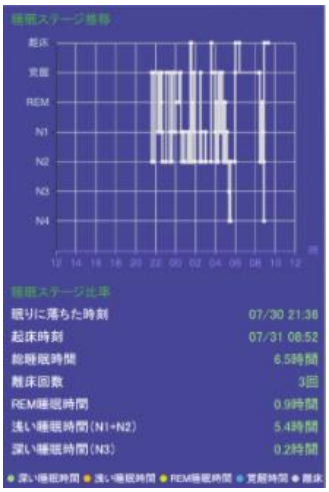
| | | |
|---|---|---|
| 企業名 | 株式会社ツカモトコーポレーション | |
| 担当者名 | 小林　孝路 | |
| 担当者連絡先 | 住所 | 〒103-0023<br>東京都中央区日本橋本町1丁目6番5号 |
| | 電話 | 03-3279-6847 |
| | 電子メールアドレス | t-kobayashi@tsukamoto.co.jp |
| 主たる業種 | 卸売業 | |
| 主要な製品 | アパレル製品、企業ユニフォーム、美容健康家電 | |
| 希望する施設等の種類や職種等<br><br>希望施設に☑を入れてください<br>複数選択可 | ☑介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム<br>☑介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護<br>☑認知症対応型共同生活介護：グループホーム<br>☑特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護<br>☑居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護　等<br>☐ショートステイ<br>☐障害者福祉施設<br>☐医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター　等<br>☐その他：（　　） | |
| その他の希望 | 特になし | |

## 2．申請機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

| | |
|---|---|
| 機器の名称（仮称） | アルゴスリープ　介護用見守りセンサー |
| 機器の概要<br>（写真を添付すること） | 想定する使用者、使用場面<br>【高齢者】転倒リスクのある方、認知症の方、生活リズムの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方<br>【介護者】複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたいと感じている方<br><br>【使用場面】<br>居室のベッドとマットレスの間（ご利用者様の肩甲骨の下あたり）にセンサーマットを敷き使用します。マットレス厚さは最大30cmまで対応可能です。<br>ご利用者様から取得した生体情報はWi-Fi環境を通じてパソコンやスマートフォンで確認可能です。<br>  |

<table>
<tr>
<td></td>
<td>
<u>機能と使用方法、有用性</u><br>
リアルタイムモニタリング、アラート通知、レポート機能がご利用できます。<br><br>
①リアルタイムモニタリングでは離床/座位/臥床/睡眠の状態をリアルタイムに表示します。モニタリング画面を利用して、目が覚めているご利用者様へ優先的にケアを行うなど、状況に応じた対応が可能になります。同時にご利用者様の心拍と呼吸数を計測し、モニタリング画面に数値を表示します。<br><br>
②アラート機能は測定中のデータに基づき異変を感知し、管理者のスマートフォンにお知らせをする機能です。迅速な対応の補助によりスタッフの精神的負担をサポートします。<br><br>
③レポート機能では日報、週報、月報の確認が可能で、睡眠の点数をはじめ、レム睡眠やノンレム睡眠などの睡眠の深度、睡眠時の心拍や呼吸数の推移を確認することが可能です。<br>

</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>
<u>類似する機器との相違</u><br>
独自開発のアルゴリズムによって解析を行ったレポート機能が充実しております。<br>
呼吸数や心拍数の推移をみることで、健康状態、体調変化の早期発見と早めの対処に役立ちます。また、睡眠の深度を測定することや睡眠の点数化も可能で「根拠に基づいた介護」が可能です。<br>



</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>
<u>当該機器と介護業務との関連性</u><br>
ご利用者様の状況を一覧で確認できるので、無駄な訪室が減り、緊急時にはアラート発報で変化に迅速に対応することで作業の効率化が図れます。<br>
また、レポート機能をケアプランの改善等に活かすことで、より質の高い介護が実現できるようになります。
</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="3">現在の開発状況と課題</td>
<td>
<u>機器に関するリスクアセスメント</u>（性能安全と利用安全の確保対策）<br>
・アダプタは◇PSEマーク取得<br>
・認証機器のクラス分類：一般医療機器<br>
・医療機器届出番号：13BX10246000001
</td>
</tr>
<tr>
<td>
<u>社内や社外モニター調査の実績</u><br>
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、認知症グループホーム、障害者支援施設などでモニター実績あり。
</td>
</tr>
<tr>
<td>
<u>開発に関する当面の課題</u><br>
機器の精度向上、通知スピードの向上、レポート機能の活かし方
</td>
</tr>
</table>

## ３．モニター調査の概要

| | |
|---|---|
| １．調査のねらい | 介護施設において見守りセンサーを利用することで、どれだけ作業効率化が行われるかを調査したく思います。また、蓄積されたデータ(レポート)がどのように介護の現場で活かせるのか、活かすためにはどのようなデータが必要なのかについても調査をしたいと思っております。 |
| ２．調査概要 | １）調査対象<br>【高齢者】転倒リスクのある方、認知症の方、生活リズムの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方<br>【介護者】複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたいと感じている方<br>２）調査したい場面、場所<br>遠隔から見守りたいご利用者様がいる施設様<br>根拠に基づく介護を導入したい施設様<br>ICTに興味があり、見守りセンサーを試してみたいご施設様<br><br>３）調査期間（日数）<br>1か月前後を標準と考えるが、施設様の状況により延長等可能<br><br>４）機器の台数：10台～50台<br>施設等の状況により要相談(1ユニット分、1フロア分などの大人数も可能) |

## ４．モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP8～9を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスを行います。

| | |
|---|---|
| １．利用対象者の適用範囲に関すること | 【調査手法】<br>☐観察法　☐インタビュー法　☐質問紙法　☐その他：<br><br>【想定する調査方法】<br>特になし。 |
| ２．利用環境の条件に関すること | 【調査手法】<br>☐観察法　☐インタビュー法　☐質問紙法　☐その他：<br><br>【想定する調査方法】<br>特になし。 |
| ３．機器の利用効果に関すること | 【調査手法】<br>☐観察法　☑インタビュー法　☐質問紙法　☐その他：<br><br>【想定する調査方法】<br>・転倒リスクのあるご利用者様、徘徊の傾向があるご利用者様、定期的にモニタリングが必要なご利用者様等にご使用いただき、機器の有用性があるかを確認する。<br>・転倒リスクのあるご利用者様に対し、起き上がりアラートを使用することで、ヒヤリハットを含む転倒事故のリスクを軽減ができるかを調査する。<br>・リアルタイムモニタリング機能を活用し、定期巡視の効率化(スピード化)や、複数人に対しての同時見守りに対する有効性を調査する。<br>・センサーより取得したデータをケアカンファレンスに活用することにより、ケア品質の向上やケアプランの改善、ご利用者様のQOL向上につながるかを調査する。<br>・医師にデータを共有し、睡眠時のデータを睡眠薬の投薬量の目安や投薬後の経過観察に活用する。 |

| | |
|---|---|
| 4．機器の使い勝手に関すること | 【調査手法】<br>☐観察法　☐インタビュー法　☑質問紙法　☐その他：<br><br>【想定する調査方法】<br>・現場職員のオペレーションが対応できるかアンケート調査を行う。<br>・全体的な使い勝手ついてアンケート調査を行う。 |
| 5．介護現場での利用の継続性に関すること | 【調査手法】<br>☐観察法　☑インタビュー法　☐質問紙法　☐その他：<br><br>【想定する調査方法】<br>・業務の効率につながらなかった機能について意見を伺う。<br>・なぜ業務の効率化につながらなかったのか、業務効率化につなげるためにはそのような改良が必要かについて協議する。 |
| 6．その他 | |

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

株式会社ツカモトコーポレーション

美しい生活がいい

株式会社ツカモトコーポレーション

Amenity & Beauty Company

# TSUKAMOTO

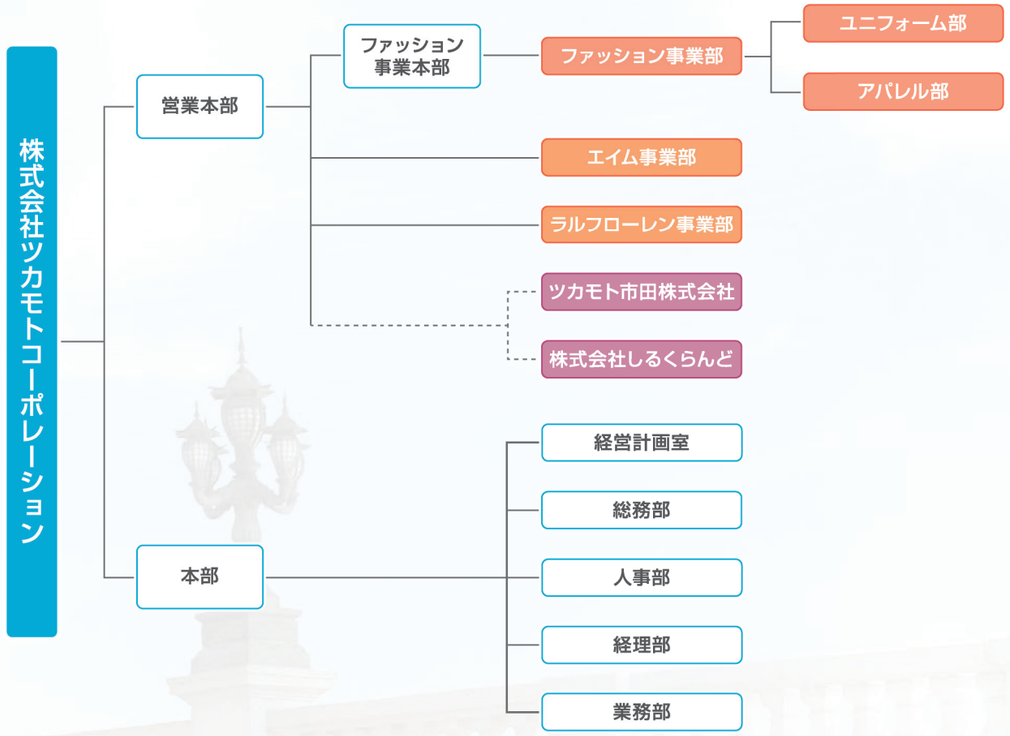
会社案内

202003-05-2000

# START UP
# NEW TSUKAMOTO

創業200有余年。ツカモトグループは、積み重ねてきた
確かな実績と経験をもとに、幅広く多彩な事業を展開。
お客様の満足と信頼に応える商品・サービスを提供しています。
2019年には、企業価値の向上を目指してグループ全体における
大規模な改革を実施。
時代のニーズに合わせた、より快適でスマートな
ライフスタイルの創造に努めてまいります。

## ツカモトグループは、組織力の強化に取り組み 未来への新たな一歩を踏み出しました。




## 企業価値を高める“改革”の実施

生産性の向上

効率経営の実践

ツカモト分社グループはISO14001：2015に取り組み、サスティナビリティの向上を目指します。

企業スローガン

## 美しい生活がいい。

Amenity & Beauty Company

## 経営理念

### 社訓

○道義を重んじる
○共存同栄を旨とする
○自立し協力する

### 私たちの信条（Credo）

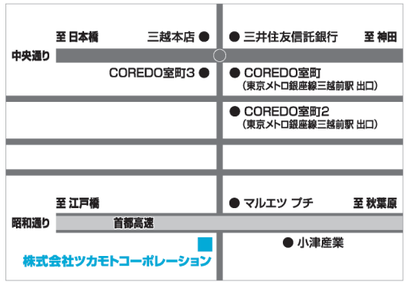
ツカモトグループは、培った商人魂とフロンティア精神のもと、美しさと快適を求める生活者に応え、和文化の継承と流通革新の進展のため、前進する。

# 株式会社ツカモトコーポレーション

ツカモトビル

甲府で創業、明治５年に日本橋の地に本社を開設し、創業からは 200 有余年となりました。ライフスタイル提案型の企業として社会認知度と企業価値を高めることに尽力し、日本の消費生活を高めて行くことを、経営の基本方針としています。

**事業内容**　ユニフォーム、アパレル、生活関連商品、和装等の企画・製造・販売
**設　　立**　1920年1月
**代 表 者**　代表取締役社長　百瀬 二郎
**資 本 金**　28億2,984万円
**売 上 高**　193億2,600万円（連結）　15億8,700万円（個別）　（2019年3月期）
**従業員数**　264名（連結）　26名（個別）
**所 在 地**　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
電話 03-3279-1330　FAX 03-3279-4261
**ホームページ**　https://www.tsukamoto.co.jp/






# 会社沿革

| | | |
|---|---|---|
| 1812年（文化９年） | | 初代塚本定右衛門（久蔵）、甲府柳町に小間物問屋「紅屋」を創業。 |
| 1833年（天保４年） | | 久蔵45歳で、実家の基礎が確立し、「一心定まる」の意味で「定右衛門」と名乗り、「家内之定」を定める。 |
| 1839年（天保10年） | | 京都店を開設する。大和郡山藩への第2回献金の功により、紋付麻上下の羽織袴を拝領。 |
| 1860年（万延１年） | | 久蔵、8月25日死去72歳。正之、分家して初代桑右衛門となる。<br>この頃から営業方針を多利僅商から「薄利広商」へと転換する。 |
| 1872年（明治５年） | 4月 | 東京日本橋伊勢町に東京本店開設。 |
| 1876年（明治９年） | | 川並学校建設費として、滋賀県に260円を寄付。以降、毎年学校や公共施設、道路改修等に寄付。 |
| 1886年（明治19年） | | 定次（二代目定右衛門）が隠居し、家督を定治（三代目定右衛門）に譲る。 |
| 1888年（明治21年） | | 定次、岡本黄石の紹介で勝海舟を訪問し、以降、度々海舟の教えを受ける。 |
| 1889年（明治22年） | 3月 | 定款を制定し、有限責任塚本商社を設立。<br>福澤諭吉の慶應義塾大学設立計画を知り1000円を寄付。以降、毎年寄付を続ける。 |
| 1893年（明治26年） | 7月 | 商法実施に伴い、塚本商社を無限責任塚本合名会社に改組。（資本金25万円） |
| 1895年（明治28年） | | 「塚本家家法」を福澤諭吉に、「塚本家家憲」を杉浦重剛に依頼し制定。 |
| 1896年（明治29年） | 5月 | 小樽に小樽塚本商店開設。 |
| 1907年（明治40年） | | 山梨県で大水害発生。塚本合名会社は、創業の地として、山梨県に200円を寄付。<br>また、明治44年にも大洪水により大被害。塚本は治山治水の植林事業に1万円を山梨県に寄付。<br>のち、この植林地は「塚本山」と命名される。 |
| 1910年（明治43年） | | 営業諸施策上の重要事項を決定するため、滋賀奥帳場の川並塚本定右衛門家に事務所を設置。 |
| 1913年（大正２年） | | 東京店を新築し、甲府店を東京店に合併。 |
| 1919年（大正８年） | | 塚本さと、淡海女子実務学校を設立。<br>滋賀県五個荘川並の本家靈堂にて杉浦重剛のもと「家訓」を制定。 |
| 1920年（大正９年） | 1月 | 東京日本橋伊勢町に（株）塚本商店開設（資本金100万円）。 |
| | 3月 | 塚本合名会社を吸収合併（資本金300万円）。 |
| 1929年（昭和４年） | 3月 | 東京本店新築完成。 |
| 1952年（昭和27年） | 5月 | 商標「MUSE（ミューズ）」制定、登録。 |
| 1957年（昭和32年） | 8月 | マネキン人形の賃貸、販売業開始。 |
| 1961年（昭和36年） | 2月 | 商号を「塚本商事株式会社」に変更。 |
| 1963年（昭和38年） | 10月 | 株式を東京証券取引所市場第二部に上場。 |
| 1965年（昭和40年） | 7月 | 東京本社新ビル完成。 |
| 1969年（昭和44年） | 12月 | 小樽支店を閉鎖、札幌支店開設。 |
| 1973年（昭和48年） | 8月 | 株式を東京証券取引所市場第一部に上場。 |
| 1974年（昭和49年） | 4月 | 京都支店新ビル完成。 |
| 1977年（昭和52年） | 4月 | 塚本ビルサービス株式会社を設立。 |
| 1978年（昭和53年） | 8月 | 陳列用器具の賃貸及び販売業をミューズマネキン（株）に営業譲渡。 |
| 1979年（昭和54年） | 11月 | 塚本倉庫株式会社設立。 |
| 1986年（昭和61年） | 8月 | ミューズマネキン（株）を「株式会社アディスミューズ」に商号変更。 |
| 1992年（平成４年） | 9月 | 滋賀県五個荘川並の業祖発祥地に資料館「聚心庵」開庵。 |
| 1994年（平成６年） | 4月 | 商号を「ツカモト株式会社」に変更。 |
| 1996年（平成８年） | 4月 | 上海事務所を開設。 |
| 2001年（平成13年） | 4月 | 環境ISO14001認証取得。 |
| 2003年（平成15年） | 10月 | 会社分割制度により7事業会社を設立し、分社体制に移行。<br>商号を「株式会社ツカモトコーポレーション」に変更、純粋持株会社とする。 |
| 2008年（平成20年） | 2月 | 市田株式会社を完全子会社としてグループに編入。 |
| | 3月 | ツカモト本社ビル耐震・外観リニューアル工事竣工。 |
| 2010年（平成22年） | 1月 | 冢本貿易（上海）有限公司設立。 |
| 2011年（平成23年） | 4月 | 創業200周年を迎え、新経営理念体系策定。 |
| | 9月 | ホームファニシング事業「ラルフローレン」ブランドをアウトレットで小売事業開始。 |
| 2013年（平成25年） | 4月 | 執行役員制を導入。 |
| | 6月 | （株）アディスミューズへ同社全株式を譲渡。 |
| 2014年（平成26年） | 6月 | 「目黒スクエアビル」不動産を取得。9月、京都支店不動産売却。 |
| 2017年（平成29年） | 4月 | 東京・札幌の和装事業を京都店に一元化。 |
| | 7月 | ツカモト市田（株）を新設し、10月からツカモト（株）と市田（株）の和装事業を完全統合する。 |
| 2018年（平成30年） | 5月 | 非営利型一般社団法人ツカモト資料館・聚心庵設立。 |
| 2019年（平成31年） | 4月 | グループ再編、関連子会社を吸収合併〈ツカモトアパレル（株）、ツカモトユーエス（株）、ツカモトエイム（株）、市田（株）〉 |

# ファッション事業部

## ユニフォーム部

「ユニフォームのち・か・ら」きっと何かが変わる！
一人ひとりの顔や姿が異なるように、企業にもそれぞれ独自の個性やカラーがあります。それらを効果的に表現する手段のひとつが、オリジナルユニフォームです。オーダーメイドだからこその満足感、企業イメージのアピール力は、社員のモチベーションも創造します。

**事業内容**　ユニフォーム、販促品などの企画・製造（OEMを含む）及び販売

**所 在 地**　〈東京〉
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
電話 03-3279-1700　FAX 03-3279-1717

〈大阪〉
〒541-0057　大阪市中央区北久宝寺町1-9-6 ネオフィス堺筋本町ビル
電話 06-6264-6551　FAX 06-6264-6559

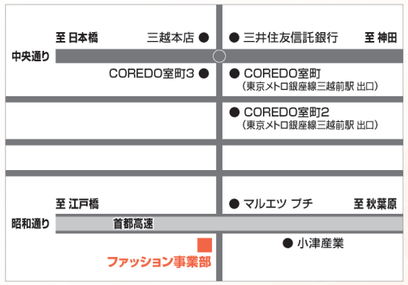
〈家本貿易（上海）有限公司〉
〒200020　上海市茂名南路205號 瑞金大厦1903室
電話 86-21-6472-0041　FAX 86-21-6472-0641

## アパレル部

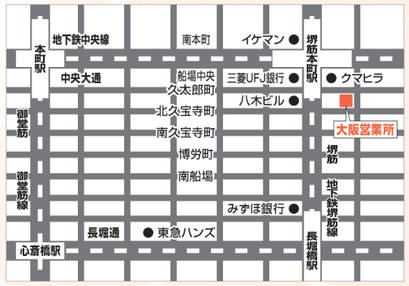
ファッションの可能性は無限大！
誰にとっても日常に彩りを与えてくれるアパレル。ヨーロッパを中心とした高品質素材に拘り、メイドインジャパンを始め、レベルの高い工場でモノ作りをすることで、世の中に新たな価値を提案します。

**事業内容**　アパレル製品の企画、製造及び販売

**所 在 地**　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
電話 03-3279-1704　FAX 03-3279-1718




東京本部




大阪営業所

# エイム事業部

porto my place　porto BEAUTY　duux DESIGNED FOR BETTER AIR

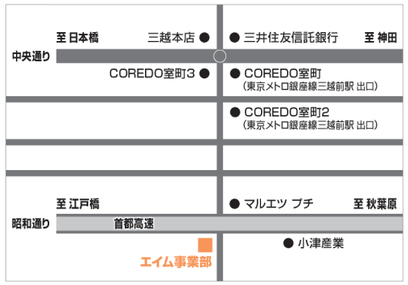
Clean（クリーン）、Ameniity（快適）、Safety（安全）、Healthy（健康）をキーワードに、価値あるライフスタイルを追求する独自のコンセプト、それが C.A.S.H です。さまざまな商材をグローバルな視点で国内外から調達し、快適で豊かな生活ができる環境作りのご提案とお手伝いをしております。

**事業内容**　美容機器、家庭用医療機器、浄水器、生活家電、雑貨などの商品企画・開発・製造及び輸入、販売

**登録認可**　第二種医療機器製造販売業許可番号 13B2X10398
医療機器製造業許可番号 14BZ200316

**加入団体**　一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会
公益社団法人 日本通信販売協会

**所 在 地**　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
電話 03-3279-1511　FAX 03-3279-1515






# ラルフローレン事業部

RALPH LAUREN

世界的なファッションブランド、ラルフ ローレンは 1983 年に家族のための大切な空間を飾るラルフ ローレン ホームを発表しました。日本では 1984 年より取り扱っています。毎シーズン、ニューヨークから届く上質で快適なライフスタイルをご紹介し、心地よい暮らしをご提案する商品を送り出しています。

**事業内容**　ホームリビング、タオル等の企画・生産及び販売

**所 在 地**　〈九段事務所〉
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
電話 03-6225-2710　FAX 03-3237-1196

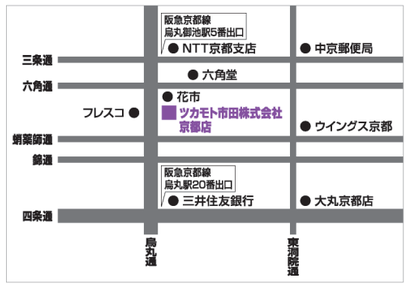
# ツカモト市田株式会社

日本の伝統文化であるきものから、ジュエリー、ファッションまで、
時代の移り変わりと共に、新しい美しさを提案いたします。

**事業内容**　和装製品·ファッション製品（婦人服/BAG/宝飾）·健康関連商品の企画、製造及び販売
**設　　立**　2017年7月
**代 表 者**　代表取締役社長　中田 敬一
**資 本 金**　9,500万円
**売 上 高**　31億1,200万円（2019年3月期）
**従業員数**　73名
**所 在 地**　〈本社〉
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
電話 03-6225-2710　FAX 03-6225-2711

〈京都店〉
〒604-8162　京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634　カラスマプラザ21
電話 075-211-0174　FAX 075-211-0185

本社




京都店

Amenity & Beauty Company